

# 一般質問

12月定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。(順不同)

## Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等(執行機関)に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。

市と文化財所有者だけでなく、こうした市民ボランティアの協力の下、地域全体で文化財を継承していく仕組みづくりが必要とされている。

【その他の質問】  
◎本市のインバウンド施策について



資源リサイクルセンターの展望について  
【創政会】大垣 真一

【資源リサイクルセンターの将来的な方向性の見解について伺う。】

安定的に処理できる体制づくりを進めていく。

また、資源リサイクルセンターは、市民、行政や再商品化事業者などが相互に連携しながら、持続可能な資源循環を可能とする環境整備拠点の一部だと考えており、施設見学などの環境学習を通じて、市民への資源化意識の高揚を図っていく。

【その他の質問】  
◎観光施策における効果について伺う。

候変動への適応の両立となることは理解するところである。今後、他自治体の事例を参考に調査研究をしていく。当面としては、プラごみゼロに向けた取り組みの一環として、広報、出前講座や市ホームページなどを活用し、マイボトルの利用促進に努めていく。



給水ステーションの設置で地球温暖化対策の推進を  
【公明党】今野 康敏

【給水ステーションは、プラスチックごみ削減だけでなく、公共施設に設置することで、災害時に避難所における水分補給また、日常の熱中症対策等にも役立つと考えるが見解を伺う。】

【経済環境部長】給水ステーションの設置がワンウェイプラの使用抑制やCO2排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害、健康増進による気



給食調理室の暑さ対策について  
【創政会】米谷 政久

【今後、定年延長等により調理員の高齢化も進むと思われる。体調管理の面からも暑さ対策が必要と考えるが、市の認識を伺う。】

このようなことから給食室の暑さ対策として、一時的に体を冷やすため、また、調理が終わった給食を各教室に配膳するまでの間、適切な温度で食品を管理するため、調理員が白衣や帽子を着たまま入退室できるスペース、例えば調理室に隣接した配膳室にエアコンを設置して調理環境を整えることも一つの方法であると考えている。

【その他の質問】  
◎本市の防犯対策について

給食室全体の温度を下げることはできないため、効果は限定的となっております。



文化財保存の状況や人材育成について課題はないか  
【創政会】越水 崇史

【文化財の保護については人的依存度が非常に高いが、少人数で行っている印象がある。市としての体制的な課題はないのか見解を伺う。】

【歴史文化推進担当部長】市所有の資料については、市職員のほか、会計年度任用職員を雇用して整理作業をしている。また、市で対応し切れ



グレーチング盗難被害の再発防止策とは  
【いせはら未来会議】橋田 夏枝

【今回の盗難事件を受けて、二度と被害に遭わないためにどのような対策を講じたのか聞く。】

【土木部長】グレーチング等の製品類については、必要なときに必要な枚数を購入し、本市敷地の内、北三間資材置場には、グレーチング以外の資材もあることから、入り口部のチェーンを強固なものに変更するとともに

※グレーチングとは、側溝などの上にかぶせてある蓋のこと。

【その他の質問】  
◎市職員の能力を最大限に引き伸ばすために

に、職員の出入りが少ない週末においては、置場内の入り口部に建設重機を停車させ、鍵が壊されても簡単に資材を持ち運ぶことができないような対策を図っている状況である。



自然共生サイトへの登録に向けて  
【進風会】荻野 貴文

【自然共生サイトへの登録へ向けて、中心になる団体を増やしたり、活動の活性化を促す取り組みを今後行っていくのか伺う。】

【経済環境部長】地方公共団体は、所有する自然関連データの活用や相互利用に貢献する地域のステークホルダーの自主的な取り組みを促すものとされている。自然共生サイトへの登録については、その実現性や手法等も含め、今後情報収集

を継承していくためには



自治会の今後。未加入でもごみ捨て制約はない。  
【庶民】岸 圭介

【ごみステーションの管理は自治会が行っており、ごみを出す権利は全ての住民にある。住民が必要とするサービスの一部を任意団体が担っている状況の中、折り合いをつけるのは難しいと思うが、市はこの問題をどのように解決しているのか伺う。】

【経済環境部長】ごみステーションの利用につ



温暖化によって引き起こされる確率の高い災害は何か  
【創政会】長嶋 一樹

【世界中で大災害が発生しているが、温暖化によって引き起こされる確率の高い災害についてどのように把握しているのか伺う。】

【危機管理担当部長】大雨や大雪、異常乾燥



誰もが投票しやすい環境整備の拡充を  
【公明党】中山 真由美

【投票補助員と選挙支援カードの取組について伺う。】

【選挙管理委員会事務局局長】投票補助員については、視覚障がい者が自分で投票用紙に記入できるように、記入する欄が手で触って分かる投票補助具の導入に向け準備を進

められている。選挙支援カードについても、代理投票や投票所内での介助など、必要な支援が適切に受けられるよう、導入に向けて準備を進めていく。

【その他の質問】  
◎防災対策の強化について